



2020 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社データホライゾン
(コード番号：3628 東証マザーズ)
住 所 広島市西区草津新町一丁目 21 番 35 号
代 表 者 名 代表取締役社長 内 海 良 夫
問 合 せ 先 取締役 内藤 慎一郎
(T E L 082-279-5525)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2020 年 8 月 27 日 16：00～17：30
開催方法	Web による実開催
開催場所	野村証券日本橋本社 野村 IR 説明会会場 (東京都中央区日本橋 1-9-1)
説明会資料	2020 年 6 月期 決算説明会

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

株式会社データホライゾン 2020年6月期 決算説明会



株式会社 データホライゾン

2020年8月27日

目 次

1. 2020年6月期 業績概要

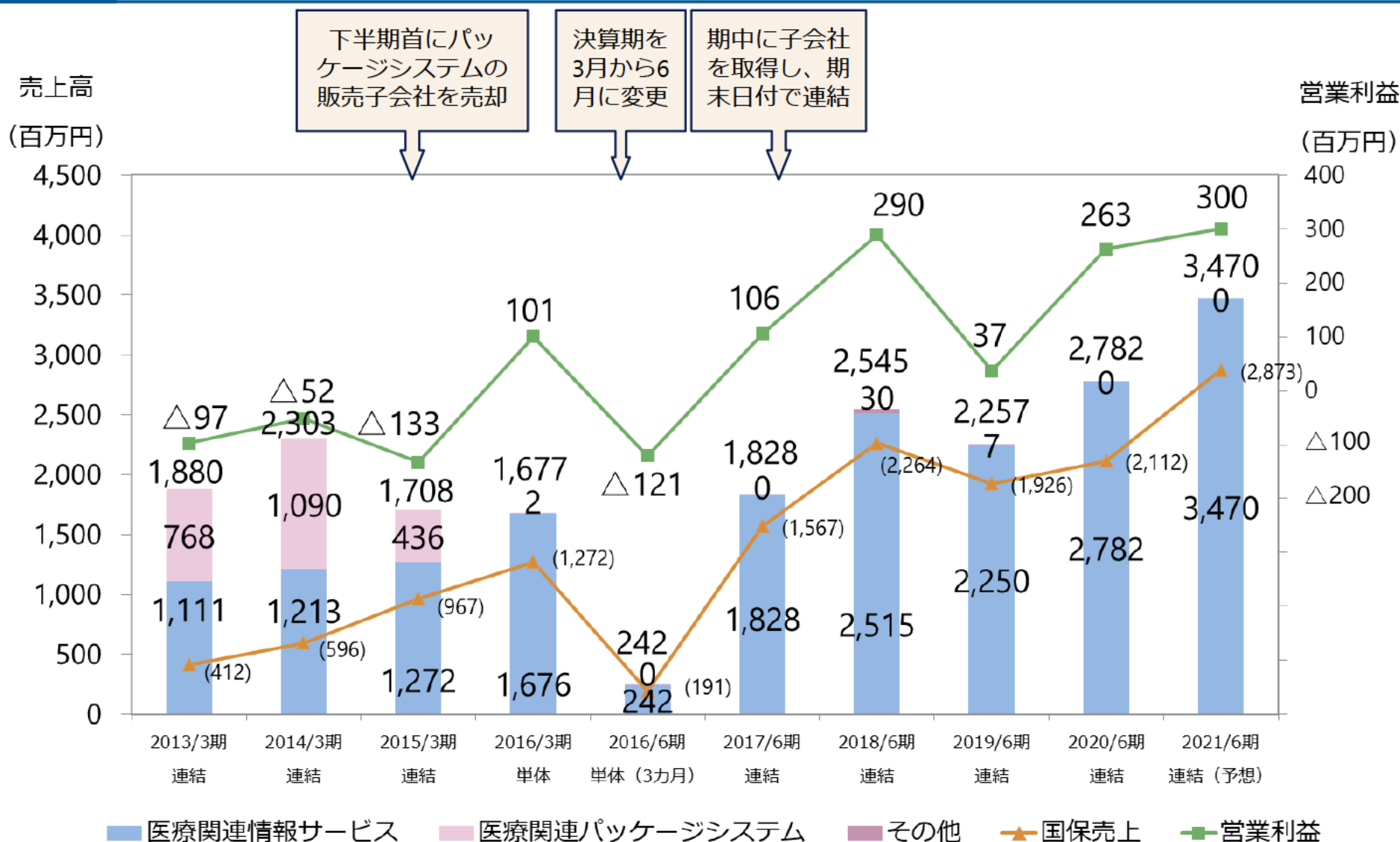
- (1) セグメント別売上の推移
- (2) 2020年6月期 業績概要
- (3) 2020年6月期 保険者種別売上高
- (4) 保険者向け情報サービスの受注保険者数の増減（連結）
- (5) 国保向けの地域展開
- (6) 2020年6月期 営業利益要因分析
- (7) 2020年6月期 貸借対照表
- (8) 2020年6月期 キャッシュ・フロー計算書

2. 2021年6月期 連結業績予想

3. トピックス

(当説明会資料における金額表記は百万円未満 四捨五入となっております。)

1.(1) セグメント別売上の推移



1.(2) 2020年6月期 業績概要

	前期実績 (2019年6月期)		当期実績 (2020年6月期)		対前期比	
	金 額 (百万円)	売上比 (%)	金 額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,257	100.0	2,782	100.0	525	23.3
売上原価	1,131	50.1	1,330	47.8	199	17.6
売上総利益	1,126	49.9	1,452	52.2	326	29.0
販管費及び一般管理費	1,089	48.3	1,189	42.7	100	9.2
うち研究開発費	104	4.6	55	2.0	△49	△ 47.4
営業利益	37	1.6	263	9.5	226	619.1
経常利益	38	1.7	264	9.5	226	602.2
特別利益	-	0.0	19	0.7	19	-
特別損失	0	0.0	1	0.0	1	2182.9
税引前当期純利益	38	1.7	282	10.1	245	652.4
法人税等	16	0.7	85	3.0	68	421.6
当期純利益	21	0.9	198	7.1	176	828.2
非支配株主に帰属する当期純利益	-	0.0	△4	-	△4	-
親会社株主に帰属する当期純利益	21	0.9	202	7.3	180	847.0

1.(3) 2020年6月期 顧客種類別売上高

	前期実績 (2019年6月期)		当期実績 (2020年6月期)		対前期比	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
国民健康保険	1,711	75.8	1,830	65.8	119	7.0
後期高齢者医療広域連合	216	9.6	282	10.1	67	30.9
国民健康保険 後期高齢者医療広域連合 合計	1,926	85.3	2,112	75.9	186	9.6
健康保険組合	90	4.0	81	2.9	△9	△ 9.7
全国健康保険協会	42	1.9	70	2.5	28	66.4
生活保護	61	2.7	401	14.4	339	552.5
その他保険者	51	2.3	35	1.2	△16	△ 30.9
その他	86	3.8	83	3.0	△3	△ 3.5
売上高 合計	2,257	100.0	2,782	100.0	525	23.3

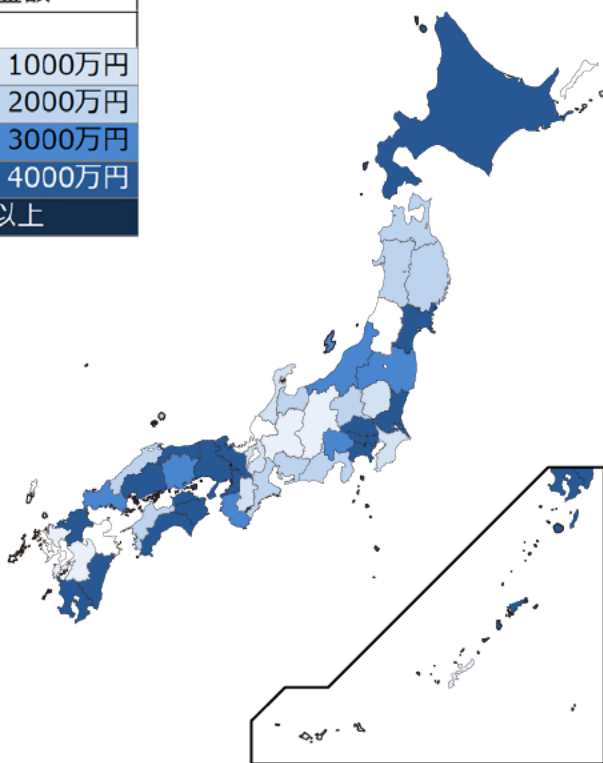
1.(4) 主な顧客種類別の増減数（連結）

顧客種類		受注件数 (2018年3月)	受注件数 (2019年3月)	受注件数 (2020年3月)		
国民健康保険	計	487	415	461		増 加
	計画支援のみ	109	12	19		
	保健事業あり	378	403	442		
後期高齢者医療 広域連合	計	21	12	21		増 加
健康保険組合	計	53	45	49		増 加
全国健康 保険協会	計	6支部	9支部	14支部		増 加
生活保護	計	4	5	146		増 加

1.(5)国保向けの地域展開

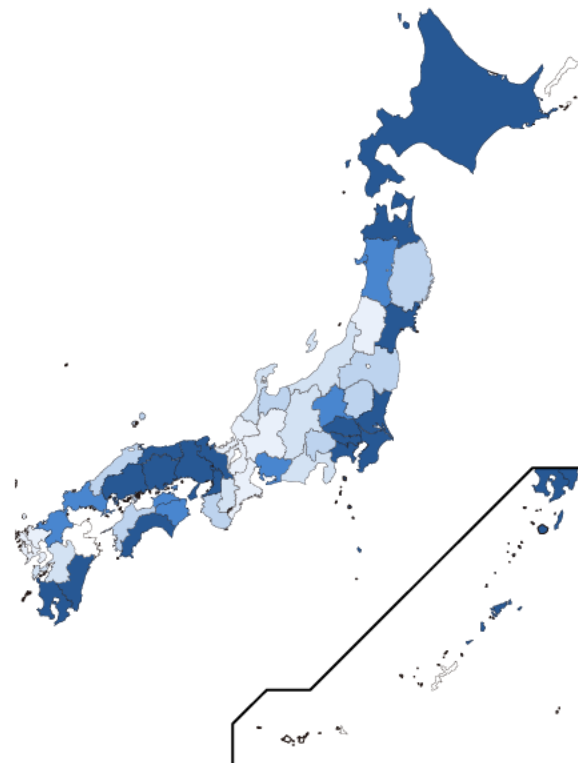
国保（地方自治体）向けに、地域の拡大とサービスの充実で売上高が増加いたしました。

売上金額		
0		
1	～	1000万円
1001	～	2000万円
2001	～	3000万円
3001	～	4000万円
4001万円以上		



2019年6月期 売上実績
1,926百万円

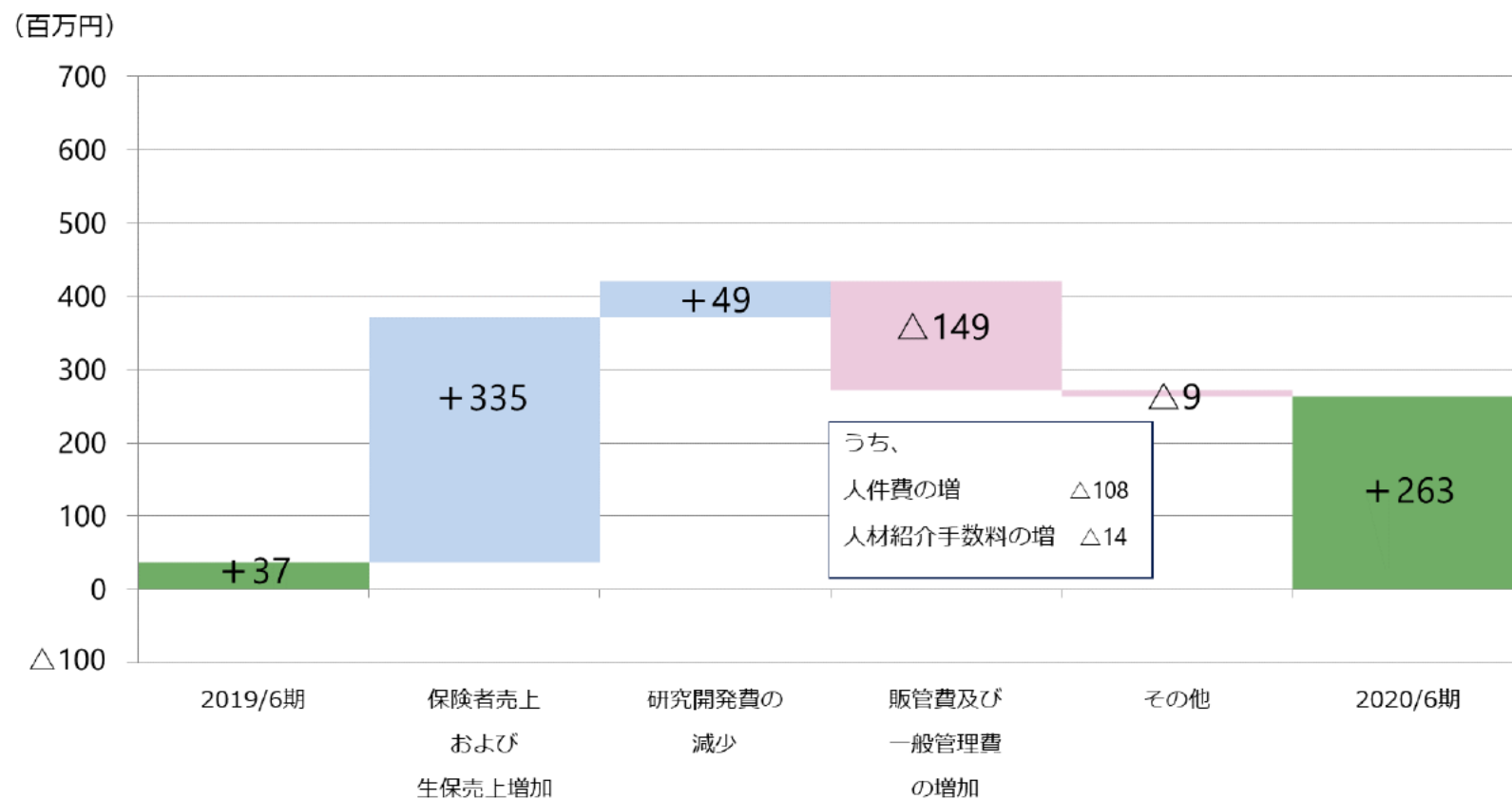
計画支援業務の受注減



2020年6月期 売上実績
2,112百万円

データヘルス関連サービスの
拡大

1.(6) 2020年6月期 営業利益要因分析



1.(7) 2020年6月期 貸借対照表

	前期実績 (2019年6月期)		当期実績 (2020年6月期)		対前期比 (百万円)	主な要因 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
流動資産	1,027	65.2	1,409	70.9	383	現金及び預金の増加411、売掛金の減少25
固定資産	549	34.8	578	29.1	29	有形固定資産の増加17、無形固定資産の増加18 投資有価証券の減少36、繰延税金資産の増加29
資産合計	1,576	100.0	1,988	100.0	412	
流動負債	419	26.6	664	33.4	246	未払金の増加45、未払法人税等の増加108、未払消費税等の増加56、預り金の減少26、賞与引当金の増加48
固定負債	34	2.2	23	1.2	△11	長期リース債務の減少13
負債合計	453	28.7	687	34.6	235	
資本金	457	29.0	457	23.0	-	
資本剰余金	163	10.4	163	8.2	-	
利益剰余金	503	31.9	676	34.0	173	当期純利益201、配当による減少△28
自己株式	△17	△ 1.1	△17	△ 0.8	△0	
株主資本	1,106	70.2	1,279	64.4	173	
評価・換算差額等	17	1.1	-	0.0	△17	
新株予約権	-	0.0	5	0.3	5	2019年8月発行のストックオプションにより増加
非支配株主持分	-	0.0	16	0.8	16	共同出資により連結子会社(株)ブリッジを設立したため増加
純資産合計	1,123	71.3	1,300	65.4	177	
負債・純資産合計	1,576	100.0	1,988	100.0	412	

1.(8) 2020年6月期 キャッシュ・フロー計算書

	前期実績 (2019年6月期)	当期実績 (2020年6月期)	対前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77	533	609
税引前当期純利益 (△は損失)	38	282	245
減価償却費	94	104	10
賞与引当金増減額 (△は減少)	△49	48	98
売上債権の増減額 (△は増加)	△50	25	75
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16	4	△12
その他流動負債の増減額 (減少は△)	△68	75	143
その他	1	△3	△4
小計	△19	534	553
法人税等の支払額	△70	△1	68
法人税等の還付額	12	-	△12
その他	△1	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71	△80	△10
有形固定資産の取得による支出	△18	△35	△17
無形固定資産の取得による支出	△49	△95	△46
敷金及び保証金の差入による支出	△8	△1	7
敷金及び保証金の回収による収入	6	0	△6
資産除去債務の履行による支出	△2	-	2
投資有価証券の売却による収入	-	31	31
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	20	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43	△42	2
自己株式の取得による支出	-	△0	△0
配当金の支払額	△28	△28	△0
リース債務の返済による支出	△13	△13	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2	-	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△190	411	601
現金及び現金同等物期首残高	896	706	△190
現金及び現金同等物期末残高	706	1,116	411

目 次

1. 2020年6月期 業績概要

2. 2021年6月期 連結業績予想

(1) 2021年6月期 連結業績予想

(2) 2021年6月期 保険者種別連結売上高

(3) 2021年6月期 連結営業利益要因分析

3. トピックス

2.(1) 2021年6月期 業績予想

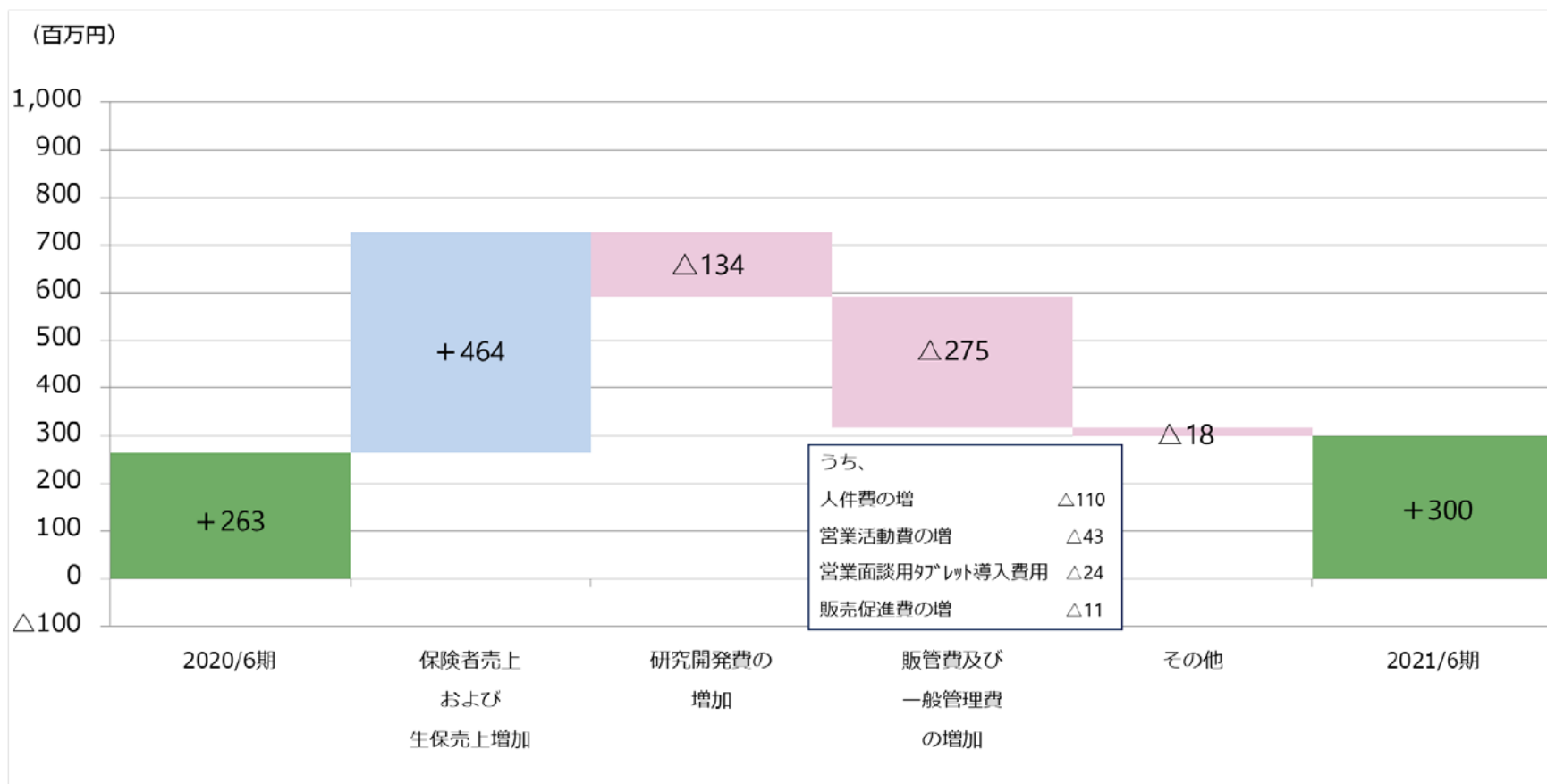
	2020年6月期 (実績)		2021年6月期 (通期業績予想)		2020年6月期比	
	金 額 (百万円)	売上比 (%)	金 額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,782	100.0	3,470	100.0	688	24.7
売上原価	1,330	47.8	1,572	45.3	241	18.1
売上総利益	1,452	52.2	1,898	54.7	446	30.7
販管費及び一般管理費	1,189	42.7	1,598	46.1	409	34.4
うち研究開発費	55	2.0	189	5.4	134	246.3
営業利益	263	9.5	300	8.6	37	14.1
経常利益	264	9.5	295	8.5	31	11.9
特別利益	19	0.7	-	-	△19	-
特別損失	1	0.0	4	0.1	3	611.4
税金等調整前当期純利益	282	10.1	291	8.4	9	3.1
法人税等	85	3.0	94	2.7	10	11.2
当期純利益	198	7.1	197	5.7	△1	△0.4
非支配株主に帰属する当期純利益	△4	-	7	0.2	11	-
親会社株主に帰属する当期純利益	202	7.3	190	5.5	△12	△5.8

上記の業績予想は、今後、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への影響が長引き、当社の業績に大きな影響がある場合、変更になる可能性があります。業績予想に変更があった場合は、速やかにお知らせいたします。

2.(2) 2021年6月期 顧客種類別売上高

	2020年6月期 (実績)		2021年6月期 (通期業績予想)		2020年6月期比		主な要因
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
国民健康保険	1,830	65.8	2,447	70.5	617	33.7	データヘルス関連サービスの拡販 都道府県ヘルスアップ事業
後期高齢者医療広域連合	282	10.1	336	9.7	54	19.2	
国民健康保険 後期高齢者医療広域連合 合計	2,112	75.9	2,783	80.2	671	31.8	
健康保険組合	81	2.9	85	2.4	4	5.0	
全国健康保険協会	70	2.5	75	2.2	5	7.3	
生活保護	401	14.4	427	12.3	26	6.5	
その他保険者	35	1.2	35	1.0	△1	△ 2.2	
その他	83	3.0	65	1.9	△18	△ 21.7	
売上高 合計	2,782	100.0	3,470	100.0	688	24.7	

2.(3) 2021年6月期 営業利益要因分析



目 次

1. 2020年6月期 業績概要

2. 2021年6月期 連結業績予想

3. トピックス

- (1) DeNAとの資本業務提携について
- (2) データ利活用事業について
- (3) 「データヘルス」を支える医療費グループینگ技術について

3.(1) DeNAとの資本業務提携について

- 自治体や健康保険組合向けのデータヘルス等を通じ、生活者の健康増進と医療費のプライマリーバランスゼロ (※) の実現を目指す



- ・ 自治体（国保）
- ・ 高リスク者
- ・ レセプト分析・クレンジング技術



- ・ 健康保険組合、生活者
- ・ 健康者
- ・ IT・エンゲージメントサイエンス

共同事業

① データヘルス事業

健康者から高リスク者までの幅広い層に対して、サービス・データ分析の両面から、自治体や健保の保健事業を支援・加速

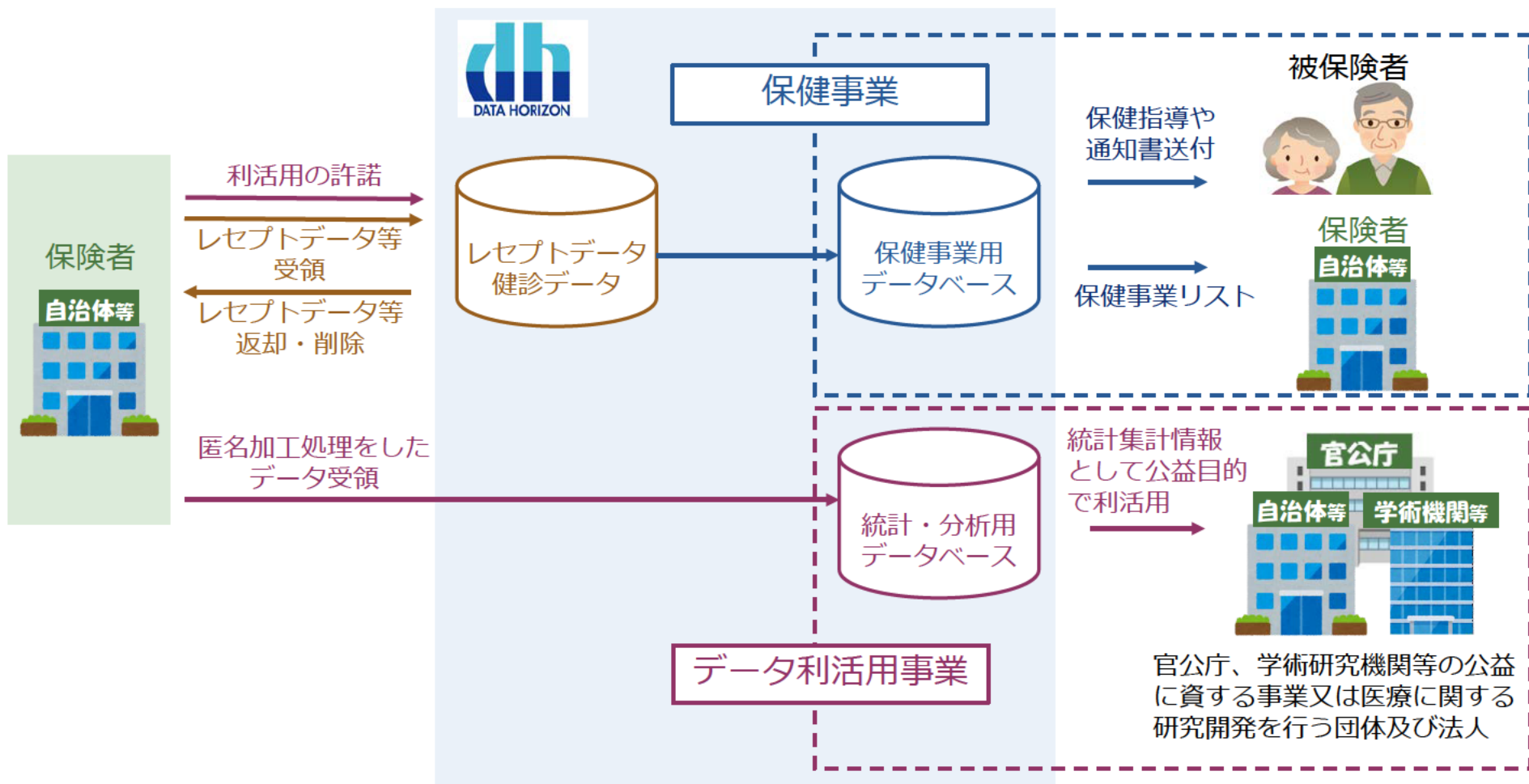
② データ利活用事業

上記の知見を踏まえ、医療費のプライマリーバランスをとるとともに、公益に資する形で活用することで、医療の質の維持・向上に貢献する事業を共同で展開

※国民医療費と経済成長率の伸びの均衡がとれており、医療保険・社会保障が持続可能な状況となっていること。

3.(2) データ利活用事業について

データ利活用事業は、保険者様に事業目的のご理解と利活用の許諾をいただいた上で、統計集計情報として公益に資する形で活用することで、医療費のプライマリーバランス実現と医療の質の維持・向上に貢献いたします。



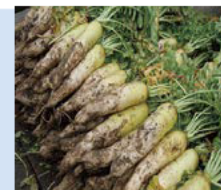
3.(3)① 「データヘルス」を支える医療費グルーピング技術について



レセプトは医療費の請求書なので、そのままでは**ジャンクデータ**

- ・治療していない傷病名が約4割もある
- ・傷病名ごとの医療費が把握できない
- ・未コード化傷病名(ワープロ病名)が存在する

そのままでは**ジャンクデータ(ごみの山)**



= 土の付いた大根



当社特許技術を使用しデータベース化



洗浄と選択



正確な医療費の見える化

- ・治療中の傷病名のみを抽出(特許第5992234号)
- ・傷病名ごとの医療費を把握(特許第4312757号)
- ・未コード化傷病名をコード化

分析可能な**ビッグデータ(宝の山)**



= 料理可能な大根



このデータベースがあれば
あらゆる保健事業に展開が可能



- ・データヘルス計画作成支援
- ・ポテンシャル分析
- ・特定健康診査等実施計画作成支援
- ・特定健診受診勧奨事業
- ・健診異常値放置者受診勧奨事業
- ・受診行動適正化事業
(頻回受診・重複受診・重複服薬)
- ・服薬情報通知サービス(多剤併用対策)

- ・ジェネリック医薬品通知サービス
- ・生活習慣病治療中断者受診勧奨事業
- ・重症化予防事業(糖尿病・高血圧)
- ・再発予防事業(脳梗塞・心筋梗塞)
- ・保健事業支援システム
- ・レセプト二次点検システム
- ・フレイルに関する分析
- ・健康管理分析表

様々な料理



3.(3)② 医療費グループ핑グ技術 - 傷病名ごとに医療費を把握する技術 -

1. 医療費の分解 (特許第4312757号)

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解・集計します。

医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)	
	(2) 狭心症	
	(3) うつ病	
	(4) 高コレステロール血症	
	(5) 2型糖尿病	
	(6) 急性上気道炎	
	(7) アレルギー性鼻炎	
摘要欄	12 再診	
	時間外対応加算2	
	明細書発行体制等加算	73 × 1
	外来管理加算	52 × 1
	13 特定疾患療養管理料(診療所)	225 × 1
	60 糖試験紙法(血)	11 × 1
	HbA1c	49 × 1
	外来迅速検体検査加算	10 × 1
	B-V	16 × 1
	尿一般	26 × 1
	外来迅速検体検査加算	10 × 1
	血液学的検査判断料	125 × 1
	生化学的検査(1)判断料	144 × 1
	80 処方せん料(7種類以上)	40 × 1
	一般名処方加算(処方せん料)	2 × 1
	長期投薬加算(処方せん料)	65 × 1

決定点数

848

調剤レセプト

No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位	薬剤科点	調剤数量
1	プラビックス錠75mg カルネート錠2.5mg カデュエット配合錠4番 トラゼンタ錠5mg グリメピリド錠1mg「NP」 【内服】1日1回朝食後服用	1錠 1錠 1錠 1錠 1錠	66	28
2	ニコランマート錠5mg 【内服】1日3回食後服用	3錠	2	28
3	エチカム錠0.5mg 【内服】1日1回就寝前服用	2錠	1	28
4	スルピリド錠50mg「アメル」 エパデールS900 900mg 安全性のため別包 【内服】1日2回朝夕食後服用	2錠 2包	27	28

決定点数

2,688

これにより、以下の医療の状況が把握できます。

- ① 傷病ごとの医療費
- ② 現在治療中の傷病

治療中の傷病と医療費

医科レセプトの傷病名	診療行為 検査	薬品	合計点数
(1) 本態性高血圧(主)	291.7	184.3	476.0
(2) 狭心症	65.7	963.6	1,029.3
(3) うつ病	11.3	63.7	75.0
(4) 高コレステロール血症	61.3	858.1	919.4
(5) 2型糖尿病	418.0	618.3	1,036.3
合計			3,536.0

治療対象外の傷病

医科レセプトの傷病名	診療行為 検査	薬品	合計点数
(6) 急性上気道炎	0.0	0.0	0.0
(7) アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0

2. 未コード化傷病名コード化

未コード化傷病名を弊社独自の辞書情報と突合検索処理しコード化します。

医科レセプトの傷病名	コード化
(1) 本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症

(データホライゾン作成)

※サンプルは分かりやすく表現するため、調剤料及び加算料については省略しています。
※サンプルは2014年4月改定前の診療報酬及び薬価を使用しています。

3.(3)③ 各医療費集計方法の比較

- **最大医療資源傷病**：レセプトに記載の最大医療資源傷病を主傷病名とし、全点数を配賦する方法
- **PDM法など**：傷病名の出現数を重みに使用して集計する方法
- **主傷病名**：レセプトに記載の主傷病名に全点数を配賦する方法

レセプトイメージ図			国保・広域連合 最大医療資源傷病	健康保険組合 PDM法など	協会けんぽ 主傷病名	データホライゾン 医療費グループング
傷 病 名	(1) 高コレステロール血症（主）		979	553	979	847
	(2) 糖尿病		0	358	0	0
	(3) 腰痛症		0	33	0	61
	(4) 急性咽頭炎		0	35	0	71
摘 要 欄	12 再診		最大医療資源 病名以外は0点	糖尿病診療行為 がないのに 358点集計	主傷病名以外 は0点	傷病名ごとに 医療費を正確 に集計
	明細書発行体制等加算	70 × 1				
	再診（夜間・早朝等）加算	50 × 1				
	外来管理加算	52 × 1				
	13 薬剤情報提供料	10 × 1				
	特定疾患療養管理料（診療所）	225 × 1				
	21 クレストール錠 2.5mg	7 × 60				
	ニフラン錠 7.5mg					
	トラネキサム酸カプセル 250mg					
	「トーフ」					
要 要 欄	フスタゾール糖衣錠 10mg					
	アルサ錠 100mg	9 × 4				
	調剤料（内服薬・浸煎薬・屯服薬）	9 × 1				
	25 処方料（その他）	42 × 1				
要 要 欄	長期投薬加算（処方料）	65 × 1				
	合 計	979				



対象者を間違って抽出

対象者を
的確に抽出

効果的な保健事業

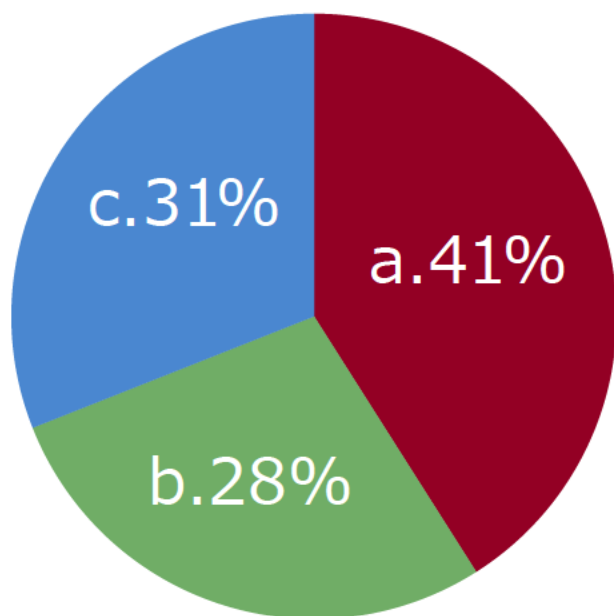
（データホライゾン作成）

Copyright 2020 DATA HORIZON

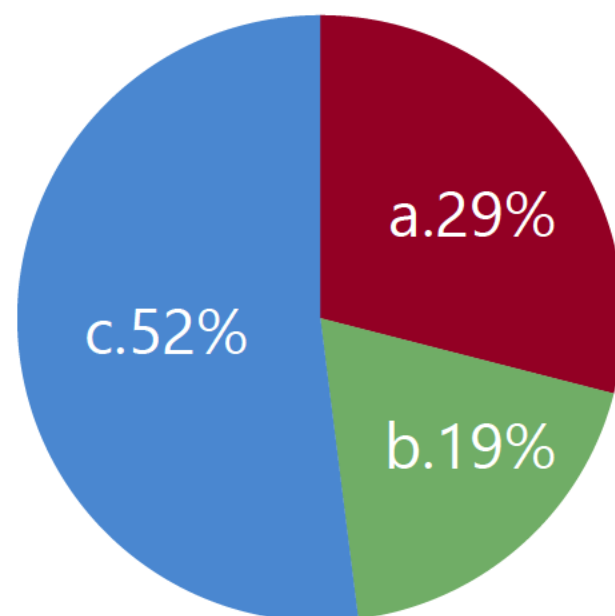
3.(3)④ PDM法などの医療費分配システムの検証結果

レセプト（入院20件・入院外80件）

- a. 100%間違いと思われる分析結果を含むレセプト
- b. 金額ベースで50%以上間違いと思われる分析結果を含むレセプト
- c. ほぼ同じと思われるレセプト



2014年7月調査



2016年8月調査

3.(3)⑤ PDM法などの医療費分配システムの検証結果

医科レセプト

傷病名

- (1) (主) 高コレステロール血症
 (2) 糖尿病
 (3) 腰痛症
 (4) 急性咽頭炎

摘要

12	再診 明細書発行体制等加算 再診(夜間・早朝等)加算 外来管理加算	70 × 1 50 × 1 52 × 1
13	薬剤情報提供料 特定疾患療養管理料(診療所)	10 × 1 225 × 1
21	Crestol錠2.5mg ニフラン錠75mg トラネキサム酸カプセル250mg「トーフ」 フスタゾール糖衣錠10mg アルサ錠100mg 調剤料(内服薬・浸煎薬・屯服薬)	7 × 60 9 × 4 9 × 1
25	処方料(その他) 長期投薬加算(処方料)	42 × 1 65 × 1

変換結果

データホライゾン(医療費グループング)		PDM法などの医療費分配システム		
傷病名	点数	傷病名	点数	コメント
高コレステロール血症	847	高コレステロール血症	553	
糖尿病	0	糖尿病	358	糖尿病に対する診療行為が見つからないにもかかわらず点数が集計されている。
腰痛症	61	腰痛症	33	
急性咽頭炎	71	急性咽頭炎	35	

(データホライゾン作成)

3.(3)⑥ 学術機関による第三者評価 - 結果の精度 -

当社の医療費グルーピング技術の
精度に関する研究の学会発表

医療費グルーピング技術について、データベースの品質を評価及び当技術の医療費分解技術を評価するために、東京大学大学院 大江和彦教授により「レセプト上の傷病名の確度に関する研究」が行われました。

その結果、アクティブ病名の特定(レセプトから治療中の病名を特定)において約90%の精度(レセプトに記載の患者の外来担当臨床医と比較して約90%の精度：レセプトの解釈の多様性を加味すると、専門知識のある医師による分析と同等の精度)であることが証明され、その結果は学会(※)にて発表されました。

(※)第33回医療情報学連合大会H25.11.21 神戸

【医療費グルーピング技術検証機関・検証者】

東京大学大学院 医学系研究科 医療情報経済学

大江 和彦 教授 M.D., Ph.D.

レセプト医療費グルーピング計算値に基づくレセプト上の傷病名の
確度に関する研究

大江 和彦 (東京大学大学院 医学系研究科 医療情報経済学)、他

背景・目的

- ・レセプトデータの二次利用の重要性が高まってきているが、レセプトに記載の全ての傷病名が、アクティブ病名(診療中の生きた傷病名)であるかどうかは疑わしい
- ・そこで、医療費グルーピング技術を応用し、個々の傷病名毎に請求金額の比率を算出、このウェイト付と、診療担当医の判定とを比較し、その一致率で確度を評価した

方法

- ・協力医師/対象レセプト
内科系4名の医師が、各自10名の患者をリクルートし、それぞれの患者の6カ月分のレセプトデータを対象に傷病名ウェイト判定、医師判定を行った
- ・判定基準

傷病名ウェイト判定			医師判定	
1	医療費ウェイト	0超～0.25	1	診療中の傷病名
2	同上	0.25超～0.5	2	疑い病名(検査病名)
3	同上	0.5超～0.75	3	診療中だが診療行為なし
4	同上	0.75超～1	0	終了傷病名
0	同上	0	9	判定不能(不明)

結果

- ・患者40名 レセプト件数 231件
傷病名総数 3518個(平均15.2個/件)
- ・個々の患者ごとのレセプト病名は、6カ月間ほぼ同様に推移していることから1件のレセプトだけを分析対象とし、当該レセプトを含む過去3ヶ月分のウェイトを合算して3ヶ月ウェイトとしたところ、医師のアクティブ病名を88.7%の確度で抽出できた。